

＜胃癌組織における腫瘍浸潤免疫細胞に関する研究＞

1. 研究の対象

当院を含む大阪大学大学院医学系研究科消化器外科関連施設において 2008 年 1 月 1 日より 2010 年 12 月 31 日までに根治的手術外科切除された進行胃癌の患者さまを対象とします。

2. 研究目的・方法

【目的】

胃癌切除症例の検体を用い、免疫染色法による腫瘍浸潤免疫細胞（CD3, CD8, CD45RO など）および他のバイオマーカー（免疫チェックポイント分子やミスマッチ修復遺伝子など）の発現割合を解析します。これらの因子について、その関連性および、予後と相関する因子を検討することを目的とします。

【方法】

研究の対象となる患者さまの手術にて切除した組織を当院にて保存しています。その保存された組織を使用して研究を行います。また、手術時に当院にて診察した時の検査などのデータを、電子カルテなどの診療情報から収集します。研究に参加することにより、対象となる患者さまに何かしていただくことはありません。

【研究期間】当院病院長の許可取得後、2023 年 10 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査データ等

試料：手術にて切除された検体のパラフィンブロック

4. 外部への試料・情報の提供

手術で摘出した組織の病理組織切片を大阪大学医学部で検査します。当院にて保存されている試料（病理組織）と収集した情報を大阪大学大学院医学系研究科消化器外科へ送ります。病理組織は、研究のデータを得るための検査を実施する中央検査センター（大阪大学大学院病態病理学講座）へ手渡しします。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

大阪大学（土岐祐一郎）、大阪国際がんセンター（大森健）、日本生命病院（生島裕文）、市立貝塚病院（高山治）、兵庫県立西宮病院（岡田一幸）、関西労災病院（益澤徹）、市立東大阪医療センター（松山仁）、市立豊中病院（今村博司）、第二大阪警察病院（文正浩）、市立吹田市民病院（矢野雅彦）、市立池田病院（高地耕）、大阪警察病院（岸

健太郎)、八尾市立病院(田村茂行)、大阪急性期・総合医療センター(藤谷和正)、大阪労災病院(赤丸祐介)、堺市立総合医療センター(西川和宏)、国立病院機構大阪医療センター(平尾素宏)、箕面市立病院(岡義雄)、市立伊丹病院(福永浩紀)、大手前病院(宮垣博道)、済生会千里病院(谷口博一)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

【連絡先】

研究責任者：宮垣 博道 (外科 ・ 部長)

研究担当者：斎藤 百合奈 (外科 ・ 医員)

実施施設名：国家公務員共済組合連合会 大手前病院

住所 : 〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-5-34

電話番号 : 06-6941-0484 (代表) (平日 9時から17時)

＜研究全体の責任者等＞

研究事務局責任者：

大阪大学消化器外科 助教 西塔拓郎

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2-E2

研究代表者：

大阪大学消化器外科 教授 土岐祐一郎

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2-E2

(作成日：2023年4月20日)